

小学生版

あたらしい児童書

NO. 306 2025. 5. 3

遠軽町図書館
遠軽町大通南4丁目
TEL42-3632
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。
小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『マイヤーさんと大きくなりすぎた犬』

リリアン・ムーア、レオーネ・アデルソン／作

・ノディンさん一家の犬のバターボールは、いつもいたずらばかりで、もうお手上げ。ある日、野良犬をつかまえる、町の犬の捕獲人マイヤーさんがやってきて…。人と犬が心を通わせる、楽しくて心あたまる物語。(小初)



『はるのおばけずかん』 斉藤 洋／作

・はるには、こわ〜いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めば、だいじょうぶ! 「はるいちばんのスプリングコート」「たけのこじいさん」「ようかいクラスがえ」など、こわいおばけの話全7話を収録する。(小初)



『煙のように消えるねこ』 リンダ・ニューベリー／作

・花や草に話しかけている、隣の家のおばあさん。サイモンは、隣の庭でふしぎな出来事が起きていることに気づく。ブルーというねこは、いつもふいにあらわれて、煙のように消えてしまい…。「おもちゃ屋のねこ」の姉妹編。(小中)



『最後のシロクマ』 蓼内 明子／作

・オセロでそうたに負けたふたばが、1個だけの白い石を「絶滅寸前のシロクマみたい」と言うと、「明日、図書館に来て」と、そうたに頼まれる。次の日、そうたの不思議なカードに導かれ、ふたりは知らない世界へ入っていき…。(小中)



『ツリーホーン、どんどん小さくなる』

フローレンス・パリー・ハイド／著

・なんか、ぼく縮んでない? ぜったい小さくなってるのに、おかあさんもおとうさんも、学校の先生も気にしてない…!? 不条理でとぼけた男の子の物語。エドワード・ゴリーのイラスト30点を収録。(小中)



『暴走するAI』 赤羽 じゅんこ／作

・あっとおどろく結末の物語から、心がホカホカに温まる物語まで、休み時間にサクッと読み切れるストーリーを収めた本格児童文学短編集。「トモダチ*スマホ」「ボクんち動画」「取りかえOK!」など全6編を収録する。(小中、小上)



『どろぼう猫とキラキラのミライ』 小手鞠 るい／作

・おとうさんと中1のお兄ちゃんと猫のミライの家族に、小4の光とママが加わった。お兄ちゃんはやさしいけど、あんまりしゃべらない。光は、お兄ちゃんのことをもっと知りたくて…。「どろぼう猫」シリーズ第3弾。(小中、小上)



『もし、親友をねたんでしまったら』 長田 結花／絵

・もし、大切な友だちに嫉妬してしまったら、どうすればいい？ グループの周りの子に合わせるのに疲れたら？ そりの合わないクラスメイトがいたら？ 人間関係の悩みによりそう、5つの短編を収録。（小上）



『純喫茶クライ』 吉田 桃子／作

・辛い思いをしている子どもの前に、ある日突然現れる「純喫茶クライ」。扉を開けると、ミルクセーキや、プリンアラモード、ホットケーキなど、心躍るメニューたちが待っています…。明日を生きる希望が生まれる物語。（小上）



『仕事をめぐる愛と冒険』 小手鞠 るい／作

・仕事って、なんだろう。「事」に「仕える」って、どういうこと？ みんな、なぜ、仕事をするの？ なんのために仕事をするの？ 仕事をめぐる愛と冒険の物語。「お金たちの愛と冒険」の姉妹作。（小上）



『なんとかなる本 4』 令丈 ヒロ子／著

・「なんとかしてくれる」はずの「コトバの術」が暴走して、さらにピンチに!？ 不思議な図書館の「コトバ使い」と、友だち関係で大ピンチな4人の物語。（小上）



『もし、自分の居場所がない気がしたら』 日本児童文学者協会／編

・もし、部活の友達とけんかして居場所がなくなったら、どうしたらいい？ インターネットで勝手に自分の動画が拡散されたら？ 友達にいいわるしたい気持ちが芽生えたら？ 人間関係の悩みによりそう、5つの短編を収録。（小上）



『妖鳥魔獣物語』 廣嶋 玲子／作

・さらさら、こすれる鱗の音。かちかち、ふれあう牙の音。闇夜の獣は不敵に笑い、角持つ踊り子は月にほほえむ。妖鳥の翼、魔獣の爪に囚われるのは、さて、だれになるでしょう？ 動物にまつわる不気味で不思議な物語9篇を収録。（小上、中）



『おとなになりたくないわたし』 夜野 せせり／作

・自分のからだから、逃げたい。成長していく自分を受け入れるには、どうしたらいいの？ 悩んでいるのは、わたしだけ？ からだの変化にとまどう二人の少女を通して、第二次性徴の悩みによりそう物語。（小中、小上、中）



『ここから出して』 菊地 秀行・恒川 光太郎・乙一／著

・得体のしれない空間に迷いこんだ不安、恐怖、焦り、絶望…。だれか助けて。人気作家が腕によりをかけた、怖くて楽しいホラー小説の傑作をセレクト。菊地秀行「雨の町」、恒川光太郎「神家没落」など全3編を収録する。（小上、中、高）

